

日 時 令和4年3月2日（水）6校時  
 授業場 美術室

生 徒 7年A組 計23名  
 授業者 更科 結希

## 1. 題材名

『Cool!わたしのアイコン』

## 2. 題材観・生徒観・指導観

この題材は、光の効果やアングルなどの造形的な視点の理解と自己理解、そして現代における表現ツールとしての写真の役割などを総合的に考えていくために設定した。本題材で表現された写真は、今後自己アイコンとして使用していくものとして取り組んでいく。

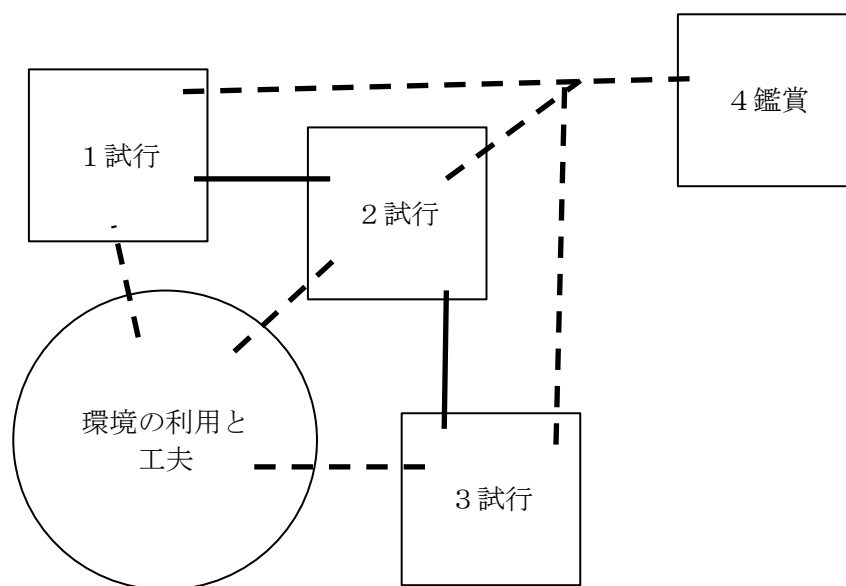
人物を撮影する写真のカテゴリにスナップ写真もある。しかし、今回はポートレートで授業を展開する。ポートレートは撮影者の意図的な表現によって撮影された写真のことを指す。生徒はスナップには慣れているが、ポートレートは初めて取り組む内容となる。この時期の生徒は照れや、自己への向き合い方に悩むことも多く、嫌煙されがちな内容であるが、写真によって可能となる自己を誇張した撮影や加工により、そうした面は打開できるのではないかと考える。また、ポートレートの表現は、生徒が発案する工夫によるところと、撮影に適した様々な光や場面の環境作りによって、思う存分活動できるよう保障したい。

## 3. 題材の目標

- (1) ・形や色彩、空間や遠近感、アングルの効果や被写体の印象や特徴を元に、全体のイメージで捉えることを理解する。（〔共通事項〕）
  - ・カメラの特性を理解し、意図に応じて工夫して表す。（「A表現」（2））
- (2) ・自分を誇張した表現を通し、感じたことや考えたことなどを基に、撮影カメラや人物の角度や距離、視点を変えながら撮影することを通してして主題を生み出し、効果的に表現するための創造的な構成を工夫してできるよう構想を練る。（「A表現」（1））
  - ・構成の工夫によって生み出される、造形的な良さや美しさを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、意識を高め、見方や感じ方を深める。（「B鑑賞」（1））
- (3) ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自己を表すための工夫や効果的であると感じたこと基に表現したり、鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。

## 4. 題材のデザイン（全4時間）

1～3校時の試行の時間において、その時間内での工夫に関わる手がかりをつなぐために、振り返りを利用する。試行の中で、実践し撮影したものの中から最適なものを作品とする。



## 6. 本時の目標（1 / 4）

ポートレート（意図的なフォト作品）を理解していくために、異なる光や小道具を用いて試行撮影を行う。次の時間に挑戦したい表現に使用できそうな小道具やシチュエーションについて考えることができる。

## 7. 本時の展開

<p><b>学習活動</b>                  教師の働きかけ（●発問、▲補助発問、■指示・説明） <b>手立て</b>                  [児童・生徒の姿]</p>	<p><b>【評価の観点と資料】</b>                  ・指導上の留意点</p> <p>研究の手立てにつなぐための学習のポイント</p>
<p>1 学習内容の把握                  ■ポートレートに挑戦して、超クールなアイコン作ろうと思う！</p> <p>●スナップ写真とポートレート写真違いは何だと思う？                  [人数の違い？ 決めてるかどうか？ それように撮ってるかどうか 等]</p> <p>■撮影に3時間を用意した！ミッションをクリアしつつ、キミの工夫もどんどん入れて超クールを目指そう。</p>	<p>撮影に意図の有無がポートレートか否かを分けるポイント                  この段階では、曖昧な状態の方が次の方が良い。</p> <p>挑戦の順と使用する言葉（3時間内）                  1 異なる光                  2 小道具                  3 アンクル→角度                  4 空間→シチュエーション</p>
<p>2 シチュエーションの異なる撮影に挑戦                  ■さあ、挑戦してみよう。                  こんな工夫できるかも！は中間報告で聞いてみたいです。</p> <div data-bbox="167 1093 997 1545"> </div>	<p>・光の違いを明確に実感させるためには、人物の角度による場所も大きい。この段階では、曖昧でも可。                  ・まずは、様々な光の中で撮影してみる。                  ・道具も様々なので、本時では用意しているもので、挑戦。</p>
<p>3 挑戦してみたい撮影の構想 <b>手立て</b>                  ●こんな使ってみたいとか、難しいと思っていることはある？</p> <p>4 再撮影                  ■やってみたいことを挑戦したり、改善して撮影してみよう。</p> <p>5 まとめ                  ●更にやってみたい！と思うことは次回の展望に、今日の振り返りをしてみよう。</p>	<p><b>【ロイロノート】</b></p> <p>子供たちの様子を見て、2の時間尺を決めるため、4は設けないかもしれない。</p> <p><b>【Google classroom】</b></p>